

## 様式8-1 (1/4)

## 異常事態連絡様式（第2報以降）（原子炉施設）

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月19日（第123報）  
発信時刻 0時30分

経済産業大臣、福島県知事、猪苗町長、宮岡町長、殿

通報者名：福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡猪苗町大字波賀字小浜作12		
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第1ヘ4号炉		
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日 17時33分		
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 原子炉冷却機能喪失 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当(口する、口しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 S/C 溫度 100°C 超え <input type="checkbox"/> 調査中	
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照		
	被ばく者の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：被ばく者 名：要救助者 名	
被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 0時0分)	汚染拡大の有無	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：	
気象情報 (SPWS) (確認時刻 0時0分)	天候 方位 風向 風速 大気安定度	晴れ 西 W/S (.) F (10m)	
周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	調査中	
その他特定事象の把握に参考となる情報			
	応急措置		

## 様式8-1 (2/4)

1号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 0 時 00分)
待機事態発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高) m □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 0 時 00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.03 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降 安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	39.2 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 6400 mm (深さ) 燃料頂部から 10396mm → S.H.C.
外部電源	受電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有・無
余熱除去系の機器操作	正常・異常
ECCS の作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
ECCS の作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	→ 36 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他	冷温停止中 サプレッションプール水温度 30 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に追跡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状況:

項目	確認時刻 (3/19日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地図上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況:

装置の状況	確認時刻 (3/19日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.01 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) ↑ 上昇 ↓ 下降 □ 安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→ 35.8 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 5800 mm (法面) 燃料頂部から 9996 mm
外部電源	○接続有、△無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有、○無
余熱除去系の機能維持	○正常、△異常
BCCSの作動・高圧系	作動、△未作動 作動後手動停止
BCCSの作動・低圧系	作動、△未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	○挿入、△未挿入
ボロシ添加	△添加、○未添加
主蒸気隔離弁の開止	○閉、△開
格納容器の隔離状態	○隔離、△非隔離
格納容器圧力	→ 14.7 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動、△未作動 冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C R.H.R. (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

3号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 0時00分)
特定電気発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出△有りの場合は以下を記入):
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.03 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降・一定制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	27.4 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 2800 mm (法規値: 燃料頂部から 6996mm) →
外部電源	受電有: 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有: <input checked="" type="checkbox"/> D/G (B) (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	正常: 异常
ECCSの作動・高圧系	作動: <input checked="" type="checkbox"/> 実作動 営前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動: <input checked="" type="checkbox"/> 実作動 営前に作動防止
全ての制御棒挿入	全挿入: 未挿入
ボロジ添加	添加: <input checked="" type="checkbox"/> 実添加
主蒸気降露弁の開閉	開: <input checked="" type="checkbox"/>
格納容器の隔離状態	隔離: 非隔離
格納容器圧力	→ 16.5 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動: <input checked="" type="checkbox"/>
その他の備考事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 42 ℃ RHR (B) 系による除熱中 ヤ/W 頭部ヘント中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

4号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 0時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、也無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口場所名)	放出場所名: (地上高) m □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 0時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.65 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [giga]) 上昇・下降(安全制御中)
1次冷却系の温度(ホットレグ)	32.7 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	S.H.C. 3800 mm (燃料棒) 燃料頂部から 4996 mm
外部管路	受電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (D/G (H) 無負荷運転)
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入 C.R.1.0-1.9 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気高圧弁の閉止	閉・開
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	16 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [giga])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 31 °C R.H.R. (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式3-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日 0時00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出経済時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出経済時間(h)	

## 2. 予測総量

種類	評価時刻(19日 0時00分)			
	日 時 分 方位 km mSv			
全身の外被ばくによる予測総量の最大地点				
甲状腺の予測総量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(18日23時30分)						
排気筒モニタ	評価時刻(18日23時30分)						
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 6.5 CPS 2号機: 5.1 CPS						
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 3.7 CPS 4号機: 6.6 CPS						

評価時刻 18日23時30分

測定項目	固定式モニタリング設備地点							
	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	23時10分	18.3	11.1	18.7	13.0	11.7	—	—
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	23時20分	18.3	11.1	18.7	12.9	11.7	—	—
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	23時30分	18.3	11.1	18.7	13.0	11.7	—	—
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h						
	時 分	μSv/h						

測定項目	可動地点								
	設備地点名	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
	γ線空間線量率	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
	中性子線 空間線量率	設備地点名							
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
		時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h	時 分	μSv/h
	ヨウ素濃度	設備地点名							
		時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³
		時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³
		時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³
		時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³
		時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³	時 分	Bq/cm³
	その他測定項目	設備地点名							
		時 分		時 分		時 分		時 分	
		時 分		時 分		時 分		時 分	
		時 分		時 分		時 分		時 分	
		時 分		時 分		時 分		時 分	
項目		時 分		時 分		時 分		時 分	

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(19日0時00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.5 cps, 2号機: 5.9 cps
補助給水室排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.5 cps, 4号機: 6.5 cps
	AVG: 3.9 cps

## 固定式モニタリング設備地点

	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	23時40分	18.2	11.0	18.7	12.9	11.7	—	—
	23時50分	18.2	11.0	18.6	12.9	11.7	—	—
γ線空間線量率	0時00分	18.2	11.0	18.7	12.9	11.7	—	—
	時 分	μSv/h						
	時 分	μSv/h						

## 可動地点

	設備地点名				
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名				
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名				
		時 分			
		時 分			
		時 分			
		時 分			
項目					
		時 分			
		時 分			
		時 分			
		時 分			

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1 (1/4)

## 異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月17日(第24報)  
着信時刻 3時30分

経済産業大臣、福島県知事、相馬町長、賞岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚志  
連絡先 0240-25-4111(代)( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分：電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小沢作12		
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第1~4号炉		
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日17時35分		
要發生した特定事象の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 特定事象の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 想定される原因 <input checked="" type="checkbox"/> 検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等		
	<input checked="" type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当(口にする、口しない) <input checked="" type="checkbox"/> 特定シーケンス運転(口にする、口しない) <input checked="" type="checkbox"/> 調査中		
	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙を参照		
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 3時00分)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：被ばく者名 要救助者名 <input checked="" type="checkbox"/> 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	
	気象情報(SPD)	<input checked="" type="checkbox"/> 天候 <input checked="" type="checkbox"/> 風向 方位 南 <input checked="" type="checkbox"/> 風速 m/s 4.5 <input checked="" type="checkbox"/> 大気密度度 下 (10m)	
その他特定事象の把握に参考となる情報	周辺環境への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：調査中	
	応急措置		

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/9日 3時00分)
待定期発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、口無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) 口放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/9日 3時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.08 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [bar]) ↑ 上昇・下降・安定制御中
1次冷却水の温度(ホットレグ)	38.7 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	6400 mm SHC (底面) 燃料頂部から 10596 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
BPCS の作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
BPCS の作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の開止	開 閉
格納容器の隔離状態	隔離 非隔離
格納容器圧力	35 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [bar])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 30 ℃ R.H.R. (B) 系による除熱中

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(2/4)

2号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 3時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、口無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) 白放出、口停止

## 2. 設置の状況

設置の状況	確認時刻(3/19日 3時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.01 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [kgf/cm <sup>2</sup> ]) ↑ 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	35.2 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	5800 mm (底面) 燃料頂部から 9996 mm
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入 (未挿入)
ボロン添加	添加 (未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉 (開)
格納容器の隔離状態	隔離 (非隔離)
格納容器圧力	14.7 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [kgf/cm <sup>2</sup> ])
格納容器スプレイ作動	作動 (未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 25 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/9日 3時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、 □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒放出口	□放出、 □停止
放出口以外(放出品所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、 □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/9日 3時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.09 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降・警報制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	27.4 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	2800 mm (法帶内) 燃料頂部から 6996 mm →
外部電源	接続有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 ( ) D/G (B) (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能動作	正常、異常
BCCSの作動・高圧系	作動 ( ) 未作動 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動 ( ) 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	( ) 挿入 未挿入
ボロジ添加	添加 ( ) 未添加
主燃気隔離弁の開止	( ) 開 閉
格納容器の隔離状態	( ) 隔離、非隔離
格納容器圧力	11.0 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 ( ) 未作動 冷温停止中 サプレッションプール水温度 42 ℃ RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	△/△ 通常ペント中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

4号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/9日 3時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口省り、口無し
放射性物質の放出状態	(上級で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) 口放出、口停止

## 2. 設置の状況

設置の状況	確認時刻(3/9日 3時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage]) ↑ 上昇・下降・安定制御中
1次冷却水の温度(ホットリグ)	32.3 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	3800 mm (底面) 燃料頂部から 7996mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	D/G (H) 無負荷運転
余熱除却系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高压系	作動 未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入 未挿入 C.R.10-1.9・ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉 關
格納容器の隔離状態	隔離 非隔離
格納容器圧力	16 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 未作動 冷温停止中 サブレッショングール水温度 31 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式3-1(3/4)

## 【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日3時00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm³) ヨウ素(Bq/cm³) 総量(Bq/cm³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(19日3時00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載すること可とする。

## 様式3-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくならた場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(19日2時30分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	5.1 CPS	2号機:	5.8 CPS			
補助翼屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	3.1 CPS	4号機:	6.4 CPS			

固定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	2時10分	18.0 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	18.4 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	2時20分	18.0 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	18.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
	2時30分	17.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.4 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.5 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$

可動地点	設備地点名				
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	設備地点名				
	時 分				
項目	時 分				
	時 分				

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(指定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式B-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわからず資料も添付することとする。

項目	計測時刻(19月3時00分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.6 CPS, 2号機: 6.1 CPS						
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.4 CPS, 4号機: 6.4 CPS						
	PV/G 4.3 CPS						

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	2時40分	11.8 μSv/h	10.8 μSv/h	18.3 μSv/h	12.7 μSv/h	11.6 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	2時50分	11.9 μSv/h	10.8 μSv/h	18.3 μSv/h	12.7 μSv/h	11.6 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	3時00分	11.8 μSv/h	10.8 μSv/h	18.3 μSv/h	12.7 μSv/h	11.5 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
	γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率		設備地点名				
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度		設備地点名				
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目		設備地点名				
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1 (1/4)

## 異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

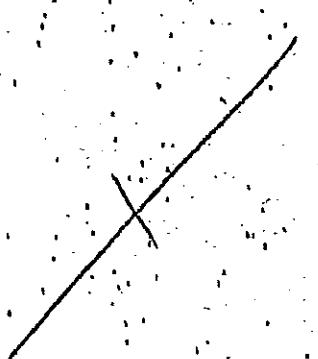
平成23年3月19日(第125報)

発信時刻 6時30分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分:電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12		
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第1~4号炉		
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日18時35分		
要発生した特定事象の概要	<input checked="" type="checkbox"/> <b>圧力抑制機能喪失</b> <input checked="" type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当(回する、口じない) <input checked="" type="checkbox"/> 特定 S/C 温度 100°C 超え <input type="checkbox"/> 調査中		
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照		
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者名: 要救助者名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	気象情報(SPD'S)	天候: 日清化 風向: 南南西 風速: 6.2 m/s 大気安定度: D (10m)	
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有: 調査中	
応急措置			

3/19  
1号様式8-1 (2/4)  
【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(19日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、山無し
放射性物質の放出状況	(上端で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) 白放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(19日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.08 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage]) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	38.4 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	6400 mm (法規) 燃料頂部から 10596 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常、異常
ECCSの作動・高圧系	作動(実作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(実作動)
全ての制御棒挿入	挿入、未挿入
ボロン添加	添加、未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉、開
格納容器の隔壁状態	隔壁、非隔壁
格納容器圧力	3.5 (kg/cm <sup>2</sup> MPa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(実作動) 冷温停止中 サブレッショングル水温度 3.0 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、選択に連絡することとする。

3/9 様式B-1 (2/4)  
【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(19日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出 □停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出 □停止

## 2. 設置の状況

装置の状況	確認時刻(19日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.01 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降(定常制御中)
1次冷却系の温度(ホットリゲ) →	34.4 °C 給水ノズル温度
原子炉水位 →	5800 mm (液面) 燃料頂部から 0996 mm
外部電源	送電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常、異常
RCCS の作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
RCCS の作動・低圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入、未挿入
ボロジ添加	添加、未添加
主蒸気隔壁弁の閉止	閉じ、開
格納容器壁の隔壁状態	隔壁、非隔壁
格納容器圧力	14.4 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動) 冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に追加することとする。

3/9

様式8-1 (2/4)

3号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(19日 6時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、口無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入):
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) 口放出、口停止

## 2. 設置の状況

設置の状況	確認時刻(19日 6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.103 (kg/cm <sup>2</sup> ) (Pa [gauge]) 上昇・下降(安定制御中)
1次冷却系の温度(ホットリグ) →	27.2 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位 →	2800 mm (法面) 燃料頂部から 6996 mm →
外部電源	受電有: 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有: <input checked="" type="checkbox"/> D/G (B) (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	正常: 正常
ECCSの作動・高圧系	作動: <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動: <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入: <input checked="" type="checkbox"/> 未挿入
ボロン添加	添加: <input checked="" type="checkbox"/> 未添加
主蒸気隔壁分の開止	開: <input checked="" type="checkbox"/>
格納容器の隔壁状態	隔壁: 非隔壁
格納容器圧力	8.1 (kg/cm <sup>2</sup> ) (Pa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動: <input checked="" type="checkbox"/>
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 42 °C RHR (B) 系による除熱中 クル化第ベント中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に追締することとする。

3/19

様式B-1 (2/4)

4号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(19日6時00分)
待機停機発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入):
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 設置の状況

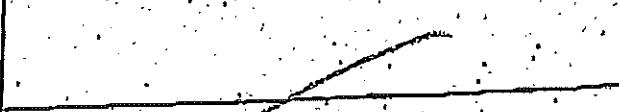
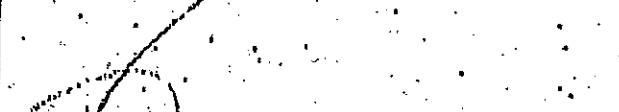
設置の状況	確認時刻(19日6時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge]) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	31.8 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	3800 mm (法規) 燃料頂部から 7996 mm
外部電源	○電有、無
非常用ディーゼル発電機運転	○電有、無 D/G (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	○正常、異常
BCCSの作動・高圧系	作動、未作動 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動、未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	插入、未挿入 C.R.10-1-9 ドリフト警報発生中
ボロシ添加	添加、未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉、開
格納容器の隔壁状態	隔壁、非隔壁
格納容器圧力	15 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動、未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 30 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1(3/4)

## 【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日 6時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm³) ヨウ素(Bq/cm³) 総量(Bq/cm³)	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(19日 6時 00分)			
	日 時 分 方位 km mSv			
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点				
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式3-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

評価時刻(19月5時30分)

項目	評価時刻(19月5時30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.2 CPS, 2号機: 5.9 CPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 3.9 CPS, 4号機: 3.5 CPS RH/2 3.6 CPS

固定式モニタリング設備地点	設備地点名						
	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
5時10分	17.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.5 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
5時20分	17.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
5時30分	17.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.5 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$

可動地點	設備地點名						
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

\*上部項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を比較することも可とする。

## 様式3-1(4/4)

## 3. 放射線モニクリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(19日6時00分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	5.1 CPS	2号機:	6.2 CPS			
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	4.8 CPS	4号機:	6.5 CPS			
	RIV/2	3.5 CPS					

## 固定式モニクリング設備地点

測定項目	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線空間線量率	5時40分	17.6	10.7	17.8	12.5	11.2	—	—
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	—	—	—
	5時50分	17.6	10.7	17.9	12.5	11.2	—	—
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	—	—	—
	6時00分	17.5	10.7	17.9	12.5	11.2	—	—
	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	—	—	—
	時 分	μSv/h						
	時 分	μSv/h						

## 可動地点

測定項目	設備地点名	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
測定項目	設備地点名	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
測定項目	設備地点名	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
		時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
ヨウ素濃度	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
測定項目	設備地点名	時 分					
		時 分					
その他測定項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1 (1/4)

## 異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月19日(第126報)  
第1信時刻 9時45分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、富岡町長 殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) [ ]特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報  
を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分:電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波賀字小浜作12	
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第1~4号炉	
特定事象の発生時刻		平成23年3月11日17時35分	
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	圧力容器倒壊事故 原子力緊急事態に該当(○する, □しない) □特定 S/C 36度 100°C 以上	
	想定される原因	□調査中	
その他特定事象の把握に参考となる情報	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照	
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分)	被ばく者の状況 □無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有:	
	気象情報(SPDAS) (確認時刻 9時00分)	天候 晴れ 風向 方位 南 風速 m/s 2.7 大気安定度 C (10m)	
周辺環境への影響	□無 □有: 調査中		
	応急措置		

## 様式8-1 (2/4)

1号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 9時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、应無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排气筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出口名)	放出場所名: (地上窓) 口放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.08 (kg/cm <sup>2</sup> , Pa [bar]) ↑ 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	38.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	6400 mm (法帶) 燃料頂部から 10596 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロジ添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	35 (kg/cm <sup>2</sup> , Pa [bar])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動 冷温停止中 サプレッショングール水温度 29 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 9時00分)
待機等発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、山無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気管放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出口名)	放出場所名: (地上高 m) 口放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.01 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge]) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	34.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	5706 mm SHC 燃料頂部から 9896 mm
外部電源	受電有無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有無
余熱除去系の機能起動	正常・異常
BCCS の作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
BCCS の作動・低圧系	作動・未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉じ・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	14.1 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動 冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1 (2/4)

3号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/11日 14時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、口無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 mm) 口放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/11日 14時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.02 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降(安全制御中)
1次冷却系の温度(ホットリグ)	27.1 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	2800 mm (法面) 燃料頂部から 6996 mm
外部電源	送電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	D/G (B) (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 事前に作動防止
金属性の制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	3.1 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 42 °C RHR (B) 系による除蒸中 ガバメントハーネス 6056 °C 通常レベル停止

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (3/4)

4号

## 【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3月9日 9時00分)
待定期間発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄を放出、「有り」の場合に以下を記入)
排气筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名: _____ (地上高: ____ m) □放出: □停止

## 2. 装置の状況

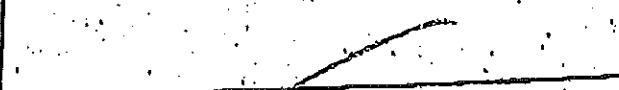
装置の状況	確認時刻(3月9日 9時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降・変動制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	31.5 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	3900 mm (液面) 燃料頂部から 8096 mm
外部電源	送電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	送電有・無 D/G (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動) 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	插入 未挿入 CR10-1.0 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	15 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動) 冷温停止中 サプレッショングール水温度 30 °C R.H.R (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたやのから記入し、迅速に連絡することとする。

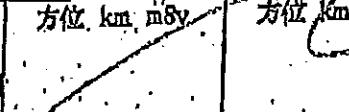
## 様式B-1(3/4)

## 【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日 9時00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(浓度)	
希ガス(Bq/cm³)	
ヨウ素(Bq/cm³)	
総量(Bq/cm³)	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(19日 9時00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点				
甲状腺の予測線量の最大地点		方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

&lt;施設側での計算値&gt;

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

評価時刻( 19日 8時30分)

項目	評価時刻( 19日 8時30分)						
排気筒活ニク							
格納槽排気筒活ニク	排気筒名: 1号機	6.1 CPS	2号機: 5.80 CPS				
補助蓄層排気筒活ニク	排気筒名: 3号機	4.5 CPS	4号機: 6.68 CPS				
	PW値	3.4 CPS					

固定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	時 分	μSv/h						
	8時10分	17.3	10.5	17.6	12.3	10.9	—	—
	8時20分	17.3	10.5	17.9	12.3	10.9	—	—
	8時30分	17.3	10.4	17.6	12.3	10.9	—	—
	時 分	μSv/h						
	時 分	μSv/h						

可動地点	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	γ線空間線量率				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	中性子線 空間線量率				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	ヨウ素濃度				
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
	その他測定項目				
	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				
項目					

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、逆順に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式3-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	計測時刻(14日 4時00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 4.5 CPS, 2号機: 5.74 CPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 3.8 CPS, 4号機: 6.36 CPS P/S: 3.8 CPS

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
γ線空間線量率	8時40分	17.2 μSv/h	10.4 μSv/h	17.7 μSv/h	12.2 μSv/h	10.9 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	8時50分	17.2 μSv/h	10.4 μSv/h	17.6 μSv/h	12.2 μSv/h	10.9 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	9時00分	17.2 μSv/h	10.3 μSv/h	17.6 μSv/h	12.2 μSv/h	10.8 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率		設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度		設備地点名				
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
その他測定項目		設備地点名				
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、おぼそい値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月19日(第127報)  
発信時刻12時02分

経済産業大臣、福島県知事、猪苗町長、富岡町長 殿

通報者名: 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先: 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡猪苗町大字波賀字小浜作1-2		
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第1~4号炉		
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日17時35分		
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 原子抑制装置喪失 <input type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当(図する、口しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 S/C 溫度低下を起因 <input type="checkbox"/> 調査中	
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主要な施設・設備の状況等	別紙を参照	
	被ばく者の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者名: 要救助者名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有:	
	天候	晴れ	
	風向	方位 角南東	
	風速	m/s 8.9	
	大気安定度	C (10m)	
その他特定事象の把握に参考となる情報	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中	
	応急措置		

## 様式8-1 (2/4)

1号

## 【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/9日 12時 00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時46分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上管) (地中管) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/9日 12時 00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.103 (kg/cm <sup>2</sup> ) (Pa [kbar]) 上昇・下降(設定制御中)
1次冷却系の温度(ホットレグ)	32.5 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	6400 mm (玄関) 燃料頂部から 10196 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の開止	閉・開
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	3.3 (kg/cm <sup>2</sup> ) (Pa [kbar])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動 冷温停止中 サプレッションプール水温度 29 °C RHR (B) 系による除熱中
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、過遠に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

2号

## 【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 12時00分)
停電事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
伊丹平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下記入)
排気筒放出口	□放出 □停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高) <input checked="" type="checkbox"/> 10m □放出 □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.61 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) ↑ 上昇 下降 <input checked="" type="checkbox"/> 安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	34.2 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	5700 mm S.H.C. 燃料頂部から 7896 mm
外部電源	<input checked="" type="checkbox"/> 送電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	<input checked="" type="checkbox"/> 送電有 <u>11'6' D/G (B) 待機</u>
余熱除去系の機能維持	<input checked="" type="checkbox"/> 正常 非常
BCCSの作動・高圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
BCCSの作動・低圧系	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	<input checked="" type="checkbox"/> 通入 未挿入
ボロシ添加	<input checked="" type="checkbox"/> 添加 未添加
主蒸気隔離弁の閉止	<input checked="" type="checkbox"/> 閉 開
格納容器の隔離状態	<input checked="" type="checkbox"/> 隔離 非隔離
格納容器圧力	12.8 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 <input checked="" type="checkbox"/> 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 25 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式B-1 (2/4)

3号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 12時00分)
待機事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入):
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 12時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) ↑ 上昇・下降・一定制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ) →	27.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	2800 mm S.H.C. 燃料頂部から 6996 mm
外部電源	受電有 ( ) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 ( ) D/G (B) (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	(正常) 異常
ECCSの作動・高圧系	作動 ( ) 実作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動 ( ) 実作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	插入 ( ) 未挿入
ボロシ添加	添加 ( ) 実添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉 ( ) 開
格納容器の隔離状態	隔離 ( ) 非隔離
格納容器圧力	8.1 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 ( ) 実作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 41 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に追加することとする。

## 様式8-1 (2/4)

4号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 13時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名 (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 設置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 13時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) ↑ 上昇・下降 (設定制御中)
1次冷却系の温度(ホットレグ)	31.1 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	3902 mm (底基準) 燃料頂部から 8096 mm →
外部電源	受電有、無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 (○) D/G (H) 無負荷運転
余熱除害系の機能維持	正常 (○) 正常
BCCSの作動・高圧系	作動 (○) 未作動 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動 (○) 未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入 (○) 未挿入 CR-1.0 - 1.9 ドリフト警報発生中
ボロジ添加	添加 (○) 未添加
主空気隔離弁の開止	開 (○) 閉
格納容器の隔壁状態	隔壁 (○) 非隔壁
格納容器圧力	15 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (○) 未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 30 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)

## 【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(14日12時00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(浓度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(14日12時00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式3-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時間(19日11時30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.4 GPS, 2号機: 5.94 GPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 3.7 GPS, 4号機: 6.50 GPS P/S: 4.3 GPS

測定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
		11時10分	10.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.0 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	11時20分	16.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	12.0 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
	11時30分	16.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.1 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$

可動地点	設備地点名	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
		時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	設備地点名	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	設備地点名	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	設備地点名	時 分					
	時 分						
項目	時 分						
	時 分						

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式B-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(14日2時00分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.3 CPS, 2号機: 5.62 CPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.5 CPS, 4号機: 6.43 CPS PNV: 4.1 CPS

## 固定式モニタリング設備地点

測定時間	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
		μSv/h						
11時40分	16.8	10.6	17.1	11.9	10.8	—	—	—
11時50分	16.9	10.6	17.1	11.9	10.8	—	—	—
12時00分	16.8	10.6	17.1	11.8	10.8	—	—	—
時 分	μSv/h							
時 分	μSv/h							

## 可動地點

測定時間	設備地點名	—	—	—	—
		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
測定時間	設備地點名	—	—	—	—
		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
測定時間	設備地點名	—	—	—	—
		Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
時 分	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³	Bq/cm³
その他測定項目	設備地點名	—	—	—	—
		時 分	時 分	時 分	時 分
項目					

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 異常事態連絡様式（第2報以降）（原子炉施設）

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月19日（第128報）

発信時刻 15時44分

経済産業大臣、福島県知事、猪苗町長、富岡町長 他

連報者名：福島第二原子力発電所長 増田 尚志  
連絡先 0240-26-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分：電気事業) 福島県双葉郡猪苗町大字波賀字小浜作12		
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第1号炉		
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日18時35分		
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	圧力容器破裂事故 原子炉緊急事態に該当(回する・口しない)	
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 $^{60}\text{Co}$ 溫度 $100^{\circ}\text{C}$ 超え <input type="checkbox"/> 調査中	
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照		
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 15時00分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	
	気象情報 (FPM)	天候：晴れ 風向：方位 西北西 風速：m/s 8.9 大気安定度：(10m)	
その他特定事象の把握に参考となる情報	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有：調査中	
	応急措置		

1号

様式B-1 (2/4)  
【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/19日 15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWDMTU
放射性物質の放出の有無	□有り、山無し
放射性物質の放出状態	(上部で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/19日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.08 (kg/cm <sup>2</sup> ) Pa [gage] 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	→ 371 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 6900 mm SMC 燃料頂部から 10596 mm
外部電源	受電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有・無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
RCCSの作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
RCCSの作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・非添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	→ 33 (kg/cm <sup>2</sup> ) Pa [gage]
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 29 °C R.H.R.(B)系による除蒸中 1450 kW 通常ハント開始

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1 (2/4)

2号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/11日 15時00分)
給電事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/11日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	→ 0.01 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [bars]) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットリグ)	→ 23.4 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	→ 5700 mm (底部) 燃料頂部から 9898 mm
外部電源	受電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有・無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	12.4 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [bars])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 25 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

3号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高) 10m □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 MPa (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降、(空)循環中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	27.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	2800 mm SHG (空) 燃料頂部から 6996 mm →
外部電源	送電有り、無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有り D/G (B) (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	正常、異常
ECCSの作動・高圧系	作動、未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動、未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入、未挿入
ボロン添加	添加、未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉、開
格納容器の隔離状態	隔離、非隔離
格納容器圧力	8.0 MPa (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動、未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 42 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式S-1 (2/4)

4号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日 15時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	□放出、△停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) □放出、△停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日 15時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.03 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) ↑ 上昇・下降(設定制御中)
1次冷却系の温度(ホットリグ)	132.7 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	3900 mm (底部) 燃料頂部から 8096 mm
外部電源	受電有り、△無し
非常用ディーゼル発電機運転	受電有り、△無し D/G (H) 無負荷運転
余熱除去系の機能維持	正常、異常
ECCSの作動・高圧系	作動、△未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動、△未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入、△未挿入 CR-1.0 - 1.9 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加、△未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉じ、△開
格納容器の隔離状態	隔離、△非隔離
格納容器圧力	1.5 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動、△未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サブレッショングール水温度 29 °C R.H.R. (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、粗瀬に追跡することとする。

## 様式8-1(3/4)

## 【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日15時00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
鈾 素(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> )	
ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> )	
緯 素(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
給 量(Bq)	
放出終続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
緯 素(Bq)	
放出終続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(19日15時00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻( 14時 14時 30分 )
排気筒モニタ	
燃料密器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.2 CPS, 2号機: 5.46 CPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.2 CPS, 4号機: 6.11 CPS PV/3 3.9 CPS

固定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						
$\gamma$ 線空間線量率	14時 10分	16.8	10.2	17.0	11.7	10.7	—	—
	14時 20分	16.7	10.3	16.9	11.7	10.7	—	—
中性子線 空間線量率	14時 30分	16.7	10.3	16.9	11.7	10.6	—	—
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						
時 分	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						

可動地点	設備地点名					
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
$\gamma$ 線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	設備地点名					
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	設備地点名					
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
時 分	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
時 分	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	設備地点名					
	時 分					
項目	時 分					
	時 分					
時 分	時 分					
	時 分					
時 分	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式B-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(14日 15時 00分)						
排気筒モニタ							
始動容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 6.3 CPS, 2号機: 5.40 CPS						
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 3.7 CPS, 4号機: 6.30 CPS PNU/2 4.1 CPS						

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	14時 40分	16.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	16.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
	14時 50分	16.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	16.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
γ線空間線量率	15時 00分	16.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	16.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.5 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$

可動地点		設備地点名					
γ線空間線量率	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	設備地点名						
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分		$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	設備地点名						
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	設備地点名						
項目	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						
	時 分						

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

\*データについては、およびその値(推定値含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1 (1/4)

## 異常事態連絡様式(第2報以降)(原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月 19日 (第129報)  
発信時刻 19時15分

経済産業大臣、福島県知事、楳葉町長、笛岡町長、殿

通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先 0240-25-4111(代) ( )

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所		東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楳葉町大字波倉字小浜作12
特定事象の発生箇所		福島第二原子力発電所 第1~4号炉
特定事象の発生時刻		平成23年 3月 11日 17時35分
要 発 生 し た 特 定 事 象 の 概 要	特定事象の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 正常運転機能喪失 <input type="checkbox"/> 原子力緊急事態に該当(回する, □しない)
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 : S/C 温度 100°C 超え <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設、設備の状況等	別紙を参照
		被ばく者の状況 <input checked="" type="checkbox"/> 有無 <input type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名: 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有無 <input type="checkbox"/> 有:
	気象情報 (確認時刻 19時00分)	天候: 晴 風向: 方位: 北 風速: m/s 6.1 大気安定度: (10m)
その他特定事象の把握に参考となる情報		周辺環境への影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有無 <input type="checkbox"/> 有: 調査中
応急措置		

1号

様式3-1 (2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/9日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	口有り、口無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) 口放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/9日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> ) Pa [bara] 上昇・下降・定常制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	51.4 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	9100 mm SHC (底面) 燃料頂部から 7298mm
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常 異常
BCCS の作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
BCCS の作動・低圧系	作動・未作動
全ての制御棒挿入	挿入 未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉 開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	34 (kg/cm <sup>2</sup> ) Pa [bara]
格納容器スフレイ作動	作動・未作動
その他	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28 °C 15~28% RHRC(B)停止 (RHRC停止後運転) 15~25% RHRC 通常ハンドル停止
その他の特記事項	

※上記項目については、情報が優れたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 様式8-1 (2/4)

2号

[原子炉の運転に関するパラメータ]

## 1. 原子炉の状況

項目	確認時刻(2/9日 18時00分)
待機警報発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出箇所名)	放出場所名: (地上高) m □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(2/9日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	10.1 (kg/cm <sup>2</sup> ) (Pa 101311) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	33.7 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	565.0 mm (低常) 燃料頂部から 984.6 mm
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	插入 未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉 關
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	12.1 (kg/cm <sup>2</sup> ) (Pa 121311)
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 24 °C R.H.R.(B)系による除熱中

※上記項目についてでは、情報を得られたものから記入し、過渡に連絡することとする。

様式B-1 (2/4)

3号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (2/9日 18時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り、 □無し
放射性物質の放出状態	(上箱で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出、 □停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高) 5m □放出、 □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (2/9日 18時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.9 / (kg/cm <sup>2</sup> Pa [base]) 上昇、下降 (定常運転中)
1次冷却系の温度 (ホットレグ) →	27.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	2800 mm (S.H.C.) 燃料頂部から 6996 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 ( ) 各過負荷分り訂正: D/G(H)停機時間観 → 2/9(日)18時15分へ停機 D/G(H)18時19分33秒へ停機
余熱除去系の機能維持	正常、異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロジ添加	添加・未添加
主蒸気隔壁弁の閉止	閉: 開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	7.9 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [base])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他	冷温停止中 サブレッショングール水温度 42 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に追加することとする。

## 様式3-1 (2/4)

4号

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(3/19日19時00分)
待機空気発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出 □停止
放出口以外(放出口所名)	放出場所名: (地上高: m) □放出 □停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日19時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上界・下降(確定制御中)
1次冷却系の温度(ホットリグ)	34.7 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	3400 mm S.H.C. 燃料頂部から7596 mm
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 ( ) 連続運転中の訂正: 1/19(H) 非負荷運転 → 1/19(H) 16時17分へ停機
余熱除去系の機能状態	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入 CR 10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔離弁の閉止	閉止
格納容器の隔離状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	14 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 29 ℃ RHZ(B)系による監視中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

## 1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(19日 17時 00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス(Bq/cm³)	
ヨウ素(Bq/cm³)	
総量(Bq/cm³)	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	

## 2. 予測線量

種類	評価時刻(19日 17時 00分)			
	自 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(14日 17時30分)						
排気筒モニタ							
格納室排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.5 CPS, 2号機: 5.6 CPS						
補助送風排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.2 CPS, 4号機: 5.5 CPS						

24/24 CPS

測定点モニタリング履歴	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	17時10分	16.9	10.2	17.0	11.6	11.6	15.7	—
	17時20分	16.9	10.2	17.1	11.6	11.5	13.0	—
	17時30分	15.9	12.2	17.6	11.7	11.5	13.3	—
	時 分	μSv/h						
	時 分	μSv/h						

※ 17時10分 MP-6 復1日

可動地点	設備地点名	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
		時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名	時 分				
		時 分				
		時 分				
		時 分				
		時 分				
項目		時 分				
		時 分				
		時 分				
		時 分				
		時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1)必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時間(　　日　　時　　分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名：1号機 1.2 CPS, 2号機：5.7 CPS 8/2 09:00 CPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名：3号機 4.6 CPS, 4号機：3.2 CPS 8/2 09:00 CPS

設備地点名	固定式モニタリング設備地点						
	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
17時45分	15.9 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.5 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.4 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
17時50分	16.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.0 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
18時00分	16.8 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	10.2 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	17.0 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	11.7 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.6 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	1.3 $\mu\text{Sv}/\text{h}$	— $\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$

X 17°10' MP-6 (裏)

可動地点	設備地点名				
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
γ線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
ヨウ素濃度	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

異常事態連絡様式（第2報以降）（原子炉施設）  
※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年3月19日（第130報）  
発信時刻 21時20分

経済産業大臣、福島県知事、楢葉町長、宮岡町長、霞

通報者名：福島第二原子力発電所長 増田 尚宏  
連絡先：0240-25-4111(代) [ ]

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分：電気事業) 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浪作1-2	
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第1～4号炉	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日17時33分	
要發生した特定事象の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 圧力容器本體破裂 原子力緊急事態に該当（図する、口しない）	
想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 S/C 温度100°C超え <input type="checkbox"/> 調査中	
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	別紙を参照。	
	被ばく者の状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有：被ばく者 名：警戒助者 名	
	汚染拡大の有無	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	天候	晴れ
	風向	方位 南
	風速	m/s 1.7
	大気安定度	下 (10m)
その他特定事象の把握に参考となる情報		
	周辺環境への影響	
	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有： 調査中	
	応急措置	
	X	

## 1. 原子炉の状態

項 目	確認時刻(3/19日21時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWDMTU
放射性物質の放出の有無	□有り、△無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合に以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(3/19日21時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.65 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge]) 上昇・下降(安全制御中)
1次冷却系の温度(ホットタグ)	65.2 給水ノズル温度
原子炉水位	3100 mm (水槽) 燃料頂部から 7296 mm →
外部電源	送電有・無
非常用ディーゼル発電機運転	送電有・無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動(未作動) 作動後手動停止
ECCSの作動・低圧系	作動(未作動)
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔壁弁の開止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	4.9 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 3.1 °C RHR(P) 実シナフ停止中

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

2号

様式8-1 (2/4)  
【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項 目	確認時刻 (7/19日 21時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□省り、△無し
放射性物質の放出状態	(上線で該当「有り」の場合は以下を記入)
排気筒放出口	□放出、□停止
放出口以外(放出口所名)	放出口所名: (地上高 m) □放出、□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (7/19日 21時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.0 / (Kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降 安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	32.7 ℃ 給水ノズル温度
原子炉水位	5.600 mm (基準面) 燃料頂部から 979.6 mm
外部電源	○有り、△無し
非常用ディーゼル発電機運転	受電有、△無し
余熱除去系の機能維持	正常、異常
RCCSの作動・高圧系	作動 (実作動) 作動後手動停止
RCCSの作動・低圧系	作動 (未作動) 作動後手動停止
全ての制御棒挿入	挿入、未挿入
ボロン添加	添加、未添加
立素気循環弁の開止	閉、開
格納容器の隔離状態	隔離、非隔離
格納容器圧力	12.1 (Kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動 (実作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングーレ水温 24 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (3/19日 21時00分)
停電事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWDTMTU
放射性物質の放出の有無	口有り、圧無し
放射性物質の放出状況	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	口放出、口停止
放出口以外(放出品所名)	放出品所名: (地上高) (m) 口放出、口停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (3/19日 21時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.0 / (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage]) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	27.0 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	2.604 mm SHC 燃料頂部から 699.6 mm →
外部電源	受電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除去系の機能維持	正常・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・未作動 事前に作動防止
ECCSの作動・低圧系	作動・未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	挿入・未挿入
ボロシ添加	添加・未添加
主給気隔離弁の閉止	閉・開
格納容器の隔離状態	隔離・非隔離
格納容器圧力	1.6 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gage])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングール水温度 42 °C RHR (B) 系による除熱中

\*上記項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

4号

様式B-1 (2/4)  
【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻(／／日／時／分)
特定事象発生時の出力	名
原子炉停止時刻	平成23年3月11日14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	□有り □無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合に記入)
排気筒放出口	□放出・□停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) □放出・□停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻(／／日／時／分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge]) 上昇・下降・安定制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ)	37.4 °C 給水ノズル温度
原子炉水位	4000 mm SHC 燃料頂部から196mm
外部電源	送電有 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電有 無
余熱除害系の機能操作	正常・異常
BCCSの作動・高圧系	作動・未作動 事前に作動防止
BCCSの作動・低圧系	作動・未作動 事前に作動防止
全ての制御棒挿入	插入・未挿入 CR-10-1.9・ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加・未添加
主蒸気隔壁弁の閉止	閉・開
格納容器の隔壁状態	隔壁・非隔壁
格納容器圧力	14 (kg/cm <sup>2</sup> Pa [gauge])
格納容器スプレイ作動	作動・未作動
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッショングブル水温度 29 °C RHR (B) 系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式B-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(14日21時00分)
評価時刻での放出量(放出率)	
希ガス(Bq/h)	
ヨウ素(Bq/h)	
総量(Bq/h)	
評価時刻での放出量(濃度)	
希ガス( $Bq/cm^3$ )	
ヨウ素( $Bq/cm^3$ )	
総量( $Bq/cm^3$ )	
評価時刻までの放出量	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	
放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測)	
希ガス(Bq)	
ヨウ素(Bq)	
総量(Bq)	
放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種類	評価時刻(14日21時00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点				
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(算出側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 複数がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻(19日21時00分)
排気筒モニタ	
換気装置排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 5.4 CPS, 2号機 5.8 CPS
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 4.3 CPS, 4号機 6.1 CPS

PM/分 5.4 CPS

測定式モニタリング設置地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
20時40分	16.6 μSv/h	10.1 μSv/h	16.8 μSv/h	11.5 μSv/h	11.4 μSv/h	12.8 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
20時50分	16.6 μSv/h	10.1 μSv/h	16.7 μSv/h	11.5 μSv/h	11.5 μSv/h	12.8 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
21時00分	16.6 μSv/h	10.1 μSv/h	16.7 μSv/h	11.5 μSv/h	11.5 μSv/h	12.8 μSv/h	— μSv/h	— μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地點	設置地點名	γ線空間線量率			
		時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設置地點名	時 分			
		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
時 分	Bq/cm <sup>3</sup>				
その他測定項目	設備地點名	時 分			
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

## 3. 放射線モニタリングの状況

- 注1)必要な情報を逐次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2)場所がわかる資料も添付することとする。

項目	測定時刻(19日20時30分)						
排気筒モニタ							
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機	6.1 CPS	2号機:	5.8 CPS			
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機	3.9 CPS	4号機:	6.6 CPS			

R4/24 4.7 CPS

固定式モニタリング設備地点	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						
γ線空間線量率	20時10分	16.7	10.1	16.8	11.6	11.5	12.9	—
	20時20分	16.6	10.1	16.9	11.5	11.4	12.9	—
	20時30分	16.6	10.1	16.8	11.5	11.5	12.8	—
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$						

可動地點	設備地點名					
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
γ線空間線量率	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
中性子線 空間線量率	設備地點名					
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
	時 分	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$	$\mu\text{Sv}/\text{h}$
白ウツ濃度	設備地點名					
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
	時 分	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$	$\text{Bq}/\text{cm}^3$
その他測定項目	設備地點名					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
項目						

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。